

取扱説明書

AUTOMATIC LABELING SYSTEM

LA-8 シリーズ

この取扱説明書をよく読み、内容を理解してから本機の運転・点検を行ってください。本書は、お読みになった後も大切に保管してください。



はじめに

このたびは、『オートラベリングシステム LA-8 シリーズ』をご購入いただき誠にありがとうございます。
ございます。

本書は、『LA-8 シリーズ』の操作方法やご使用上の注意点などについて説明しています。本機
をご使用になる前に必ずお読みください。また、お読みになった後も大切に保管してください。
本書に従わなかった場合には、重大な事故に結びつくことがあります。ご使用に当たりまして
は、本書に記載している注意事項をよくお読みいただき、正しくお取り扱いいただきますよう
お願いいたします。

目次

安全にお使いいただくために

本文中のマーク	3
注意ラベル	3
電 源	3
タッチパネル操作上の注意	4
設置上の注意	4

運転操作

ラベルを交換する	5
リボンを交換する(熱転写仕様のみ)	7
運転を開始する/終了する	8
エラーが発生したら	8
品種を呼び出す	9
貼り付け位置を調整する	10
貼り付け枚数をリセットする	10
2度貼り禁止を登録する	11
変動項目を設定する	11
印刷設定を変更する	12
フォーマットを編集する	13
データを編集する	14

困ったときには

ラベルが繰り出されない(ラベラーが動作しない)	15
ラベルが正しい位置に貼り付けられない	15

お手入れ

サーマルヘッドとプラテンローラーを清掃する	16
お手入れ	17

保 守

品種データをコントロールボックスへ書き込む	18
ユーザーが変更できる項目を設定する	19
サーマルヘッドを交換する	20
プラテンローラーを交換する	21
ワークセンサーの感度を調整する	22
ラベルセンサーの感度を調整する	23
リボンセンサーの感度を調整する (熱転写仕様のみ)	26

その他



操作キーの働き	27
仕様	28

おねがい


- 本書の内容を無断で転載することは固くお断りいたします。
- 製品の改良などにより、本書の内容に一部、製品と合致しない箇所が生じる場合がありますのでご了承ください。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本機のトラブルにつきましては個々に対応をさせていただきますが、本機トラブルによる作業ストップなどの副次的トラブルについては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

安全にお使いいただくために


本文中のマーク

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が中程度の傷害や軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示します。


注意ラベル

 注意	<ul style="list-style-type: none">● 注意ラベルはいつも清潔にしておいてください。ラベルが剥がれたり、ラベルの表示が消えたりしないように、注意して使用してください。● 万一、ラベルが剥がれたり破損した場合は、販売会社にご連絡ください。
---	---




 警告	<ul style="list-style-type: none">● 手がコンベヤーに巻き込まれる危険性がある箇所に貼られています。コンベヤー周辺での作業は、必ずコンベヤーの電源スイッチを切ってから行ってください。
---	--




 警告	<ul style="list-style-type: none">● フィードローラー付近に貼られています。駆動部に手が巻き込まれる危険性があります。消耗品の交換や調整、お手入れの前には、必ず操作パネルの電源スイッチを切ってください。
---	--




 警告	<ul style="list-style-type: none">● ラベルを取り付ける紙管ボスに貼られています。ラベルの交換時に、紙管ボスの金具で指などを切らないように注意してください。
---	---



 注意	<ul style="list-style-type: none">● 架台の足部分に貼られています。作業中や本機周辺を通るときに、つまずかないように注意してください。
---	--

電源

 注意	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードを踏みつけたり、重いものを載せないでください。コードが傷み、そのまま使用を続けると事故やトラブルの原因になります。● 電源は、必ず AC100V 50Hz/60Hz を使用してください。電源プラグのアースケーブルは、必ず接地してください。
---	---

タッチパネル操作上の注意



注意

- タッチパネルは、指先で軽く押して操作してください。
- タッチパネルは、ペン先やドライバーなどの鋭利なもので押さないでください。表面のフィルムが傷付くと内部に水分が入り、タッチパネルが破損することがあります。

設置上の注意



注意

- 許可なく本機を改造したり、指定外の部品を取り付けた場合には、重大な事故や故障の原因となります。その後の品質は保証いたしかねますので、ご了承ください。
- 本機は精密機器ですので、衝撃を与えないでください。破損や誤動作の原因になります。
- アジャストボルトは少しずつ均等に調整してください。1箇所だけを極端に伸縮させると、アジャストボルトが焼き付くことがあります。

右記のような場所には設置しないでください。

また、本機にはキャスターが付いており、運転中に動く恐れがあります。設置後は、必ずアジャストボルトで本機を水平に固定してください。

- 高温・高湿の場所
- 直射日光が当たる場所
- 振動が多い場所
- 水がかかる場所
- チリやホコリなどが多い場所
- 床や土台が水平ではなく、不安定な場所

運転操作

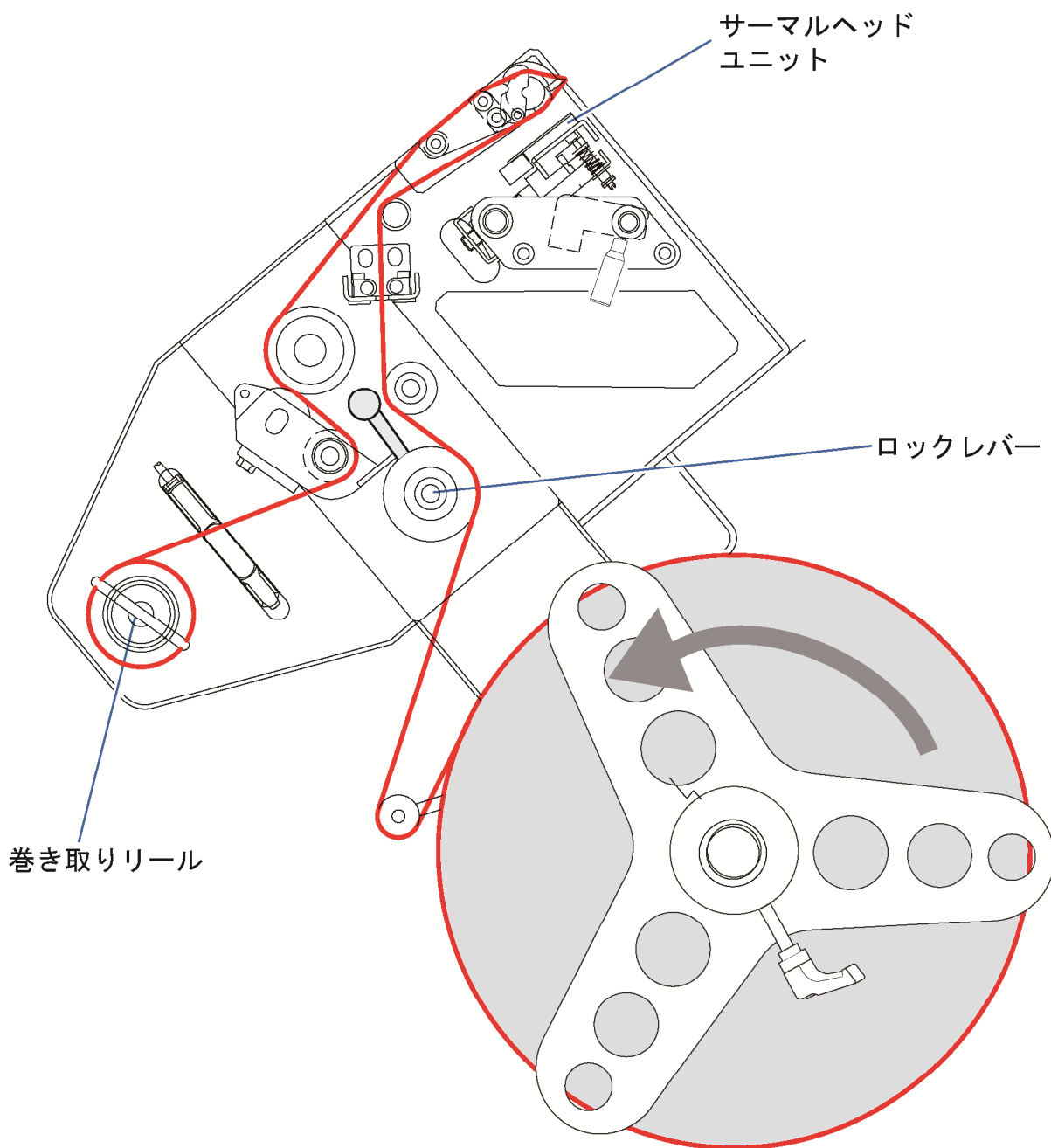
ラベルを交換する

- ラベルの交換時には、サーマルヘッドとプラテンローラーの清掃を行うことをおすすめします (P.16参照)。



警告

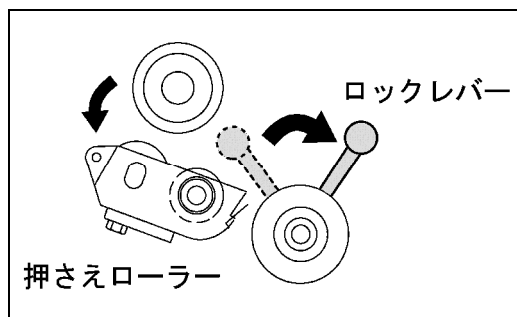
- ラベルの交換を行う前に、必ず操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ってください。ラベラーの駆動部やコンベヤーベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。



1 操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ります。

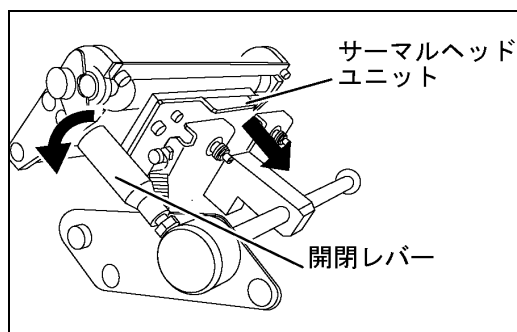
2 ロックレバーを回して押さえローラーを開きます。

- レバー上の矢印方向に回してください。



3 開閉レバーを回してサーマルヘッドユニットを開きます。

- レバー上の矢印方向に回してください。



4 ラベルロールを取り付けて、プレートで固定します。

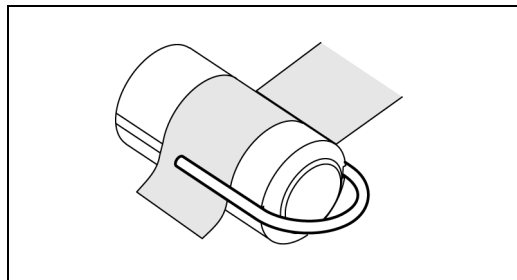
- ラベルロールの取り付け方向は、前ページのラベル経路図を参照してください。

5 ラベルを引き出して経路にセットします。

- ラベルがラベルセンサー間を通過していることを確認してください。

6 ラベルの先端を巻き取りリールに巻き付け、Uピンで固定します。

1. Uピン的一方の先で台紙を押えながら、溝に合わせます。
2. もう一方の先で台紙を押えながら、回転させて反対側の溝に入れます。
3. Uピンを押し込みます。



7 押さえローラーを閉じます。

- ロックレバーを反対方向に回して、押さえローラーを閉じてください。

8 サーマルヘッドユニットを閉じます。

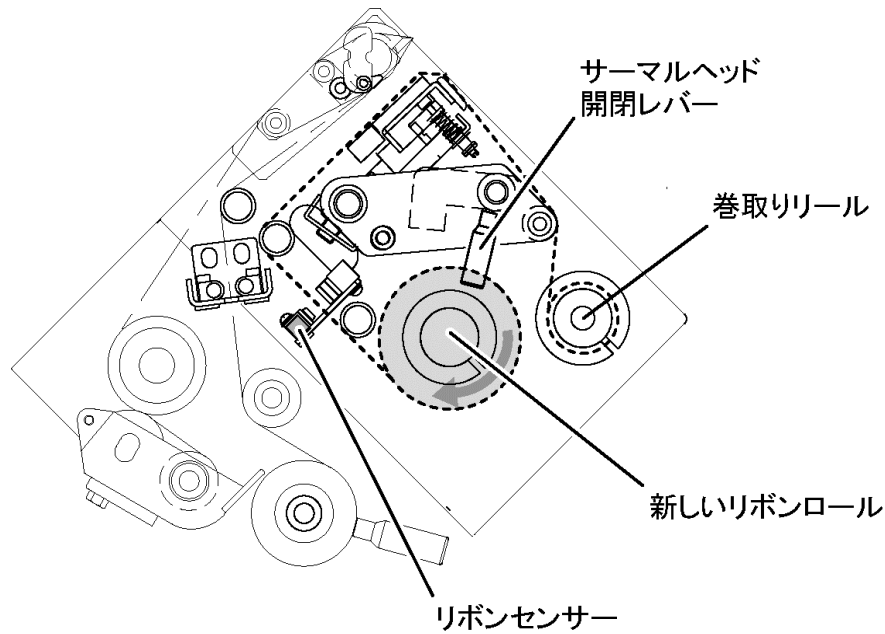
- 開閉レバーを反対方向に止まるまで回して、サーマルヘッドユニットを閉じてください。

リボンを交換する(熱転写仕様のみ)

- 使い終わった紙管は、リボンの交換時に巻き取り用として使用しますので、保管しておいてください。
- リボンの交換時には、サーマルヘッドとプラテンローラーの清掃を行うことをおすすめします(P.16参照)。

警告

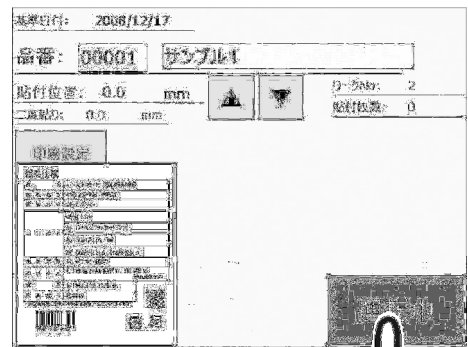
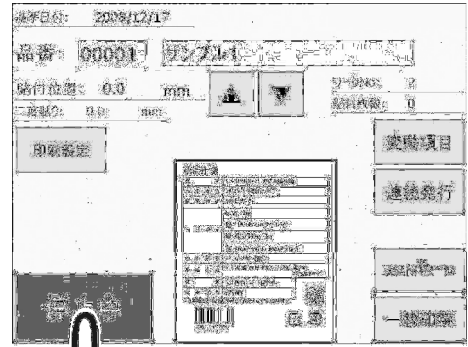
- リボンの交換を行う前に、必ず操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ってください。ラベラーの駆動部やコンベヤーベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。



- 1** 操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ります。
- 2** 開閉ノブを回してサーマルヘッドユニットを開き、リボンの巻き出しと巻き取りリールからガイドリングを取り外します。
 - ノブ上の矢印方向に回してください。
- 3** リボンロールを取り付けます。
 - 紙管の切り欠き部分が巻き出しリールの突起に合うように挿入してください。
- 4** 巻き取り用の紙管を巻き取りリールに取り付けます。
 - 紙管の切り欠き部分がリールの突起に合うように挿入してください。
- 5** リボンを引き出して経路にセットし、先端を紙管に貼り付けます。
 - リボンがリボンセンサー間を通過していることを確認してください。
- 6** 巻き取りリールを手で回して、リボン面がサーマルヘッドに当たるところまでリボンを進めます。
- 7** サーマルヘッドユニットを閉じ、巻出しと巻き取りリールにガイドリングを取り付けます。
 - 開閉ノブを反対方向に止まるまで回して、サーマルヘッドユニットを閉じてください。

運転を開始する／終了する

- 1 操作パネルの電源スイッチを入れます。
 - しばらくすると運転画面が表示されます。
- 2 **停止中**キーを押して運転を開始します。
 - **停止中**キーが**運転中**に変わります。
- 3 コンベヤーの運転を開始し、商品を供給します。
 - 商品を供給すると貼り付けを開始します。
- 4 運転を停止するには、商品の供給を停止します。
- 5 **運転中**キーを押して運転を停止します。
 - **運転中**キーが**停止中**に変わります。
- 6 操作パネルの電源スイッチを切ります。
 - コンベヤーの電源スイッチも切ってください。



エラーが発生したら

- 1 エラーが発生するとブザーが鳴り、エラーメッセージが表示されます。
- 2 **リセット**キーを押してブザーを止め、エラー原因を取り除きます。
 - **ヘルプ**キーを押してヘルプを参照することもできます。
 - その他のエラーの解決方法は、P.15を参照してください。
- 3 **戻る**キーを押して運転画面に戻ります。
 - **停止中**キーを押して運転を再開できます。

ラベルを装置にかけたまま長時間放置すると、ラベルが曲がるため運転開始時にエラーが発生します。始業時は数枚テスト発行するか、終業時にラベルを装置から外して保管してください。

品種を呼び出す

ラベルの貼り付けを行う商品に合わせて、品種を呼び出します。品種を呼び出すことによって、ラベルの印字内容や貼り付け位置などの設定が切り替わります。

品種の切り替え方法には、一覧から選択する方法と品種番号を指定する方法があります。

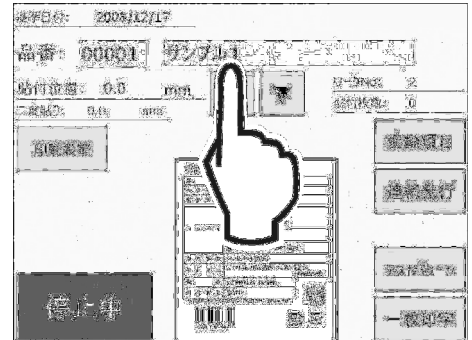
■ 品種一覧から選択する

1 **運転中**キーを押して運転を停止します。

- **運転中**キーが**停止中**に変わります。

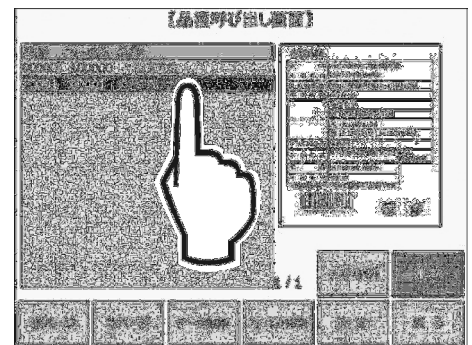
2 **品種名**キー(品種名表示部)を押して品種呼び出し画面を表示します。

- 操作を中止するには、品種呼び出し画面で**戻る**キーを押します。



3 品種を押して選択した後、**運転**キーを押します。

- 前後のページを表示するには、**前ページ** **次ページ**キーを押します。
- **運転**キーを押すと運転画面に切り替わり、**運転中**になります。



■ 品種番号を指定する

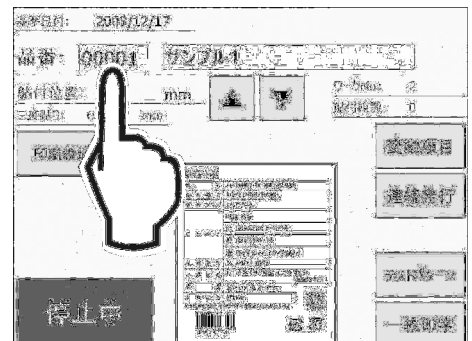
1 **運転中**キーを押して運転を停止します。

- **運転中**キーが**停止中**に変わります。

2 **品種番号**キーを押してテンキーを表示します。

- 操作を中止するには、テンキーの**ESC**キーを押します。

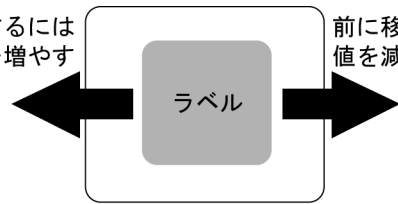
3 テンキーで品種番号を入力した後、**ENT**キーを押します。



貼り付け位置を調整する

運転中、**貼付位置**の右側にある▲▼キーで貼り付け位置を調整できます。また、テンキーで数値を入力することもできます。

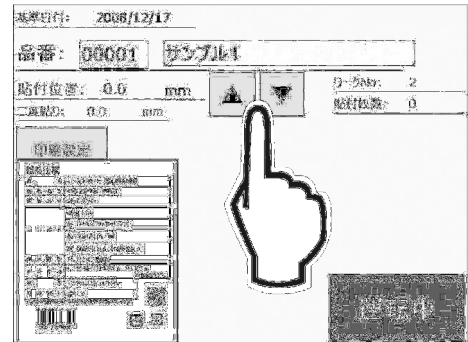
後ろに移動するには
値を増やす



前に移動するには
値を減らす

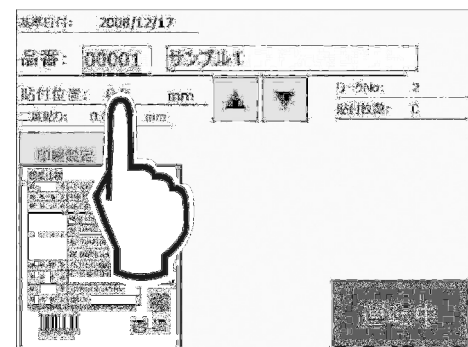
商品の搬送方向

- 1 **貼付位置**の右側にある▲▼キーを押して、貼り付け位置を調整します。



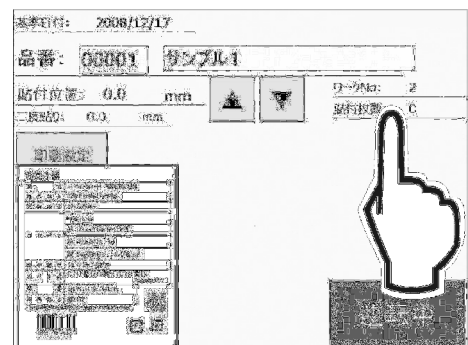
または

- 1 **貼付位置**キー（貼付位置表示部）を押してテンキーを表示します。
 - 操作を中止するには、テンキーの **ESC** キーを押します。
- 2 数値を入力した後、**ENT** キーを押します。
 - 例えば、8.5を入力するには、**8** **5** **ENT** とキーを押します。



貼り付け枚数をリセットする

- 1 **貼付枚数**キーを押してテンキーを表示します。
 - 操作を中止するには、テンキーの **ESC** キーを押します。
- 2 **CLR** キーを押して数値をクリアした後、**ENT** キーを押します。



2 度貼り禁止を登録する

1つの商品にラベルが2枚貼り付けられてしまう場合には、2度貼り禁止を登録します。

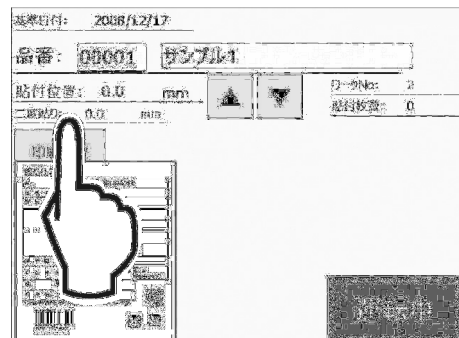
例えば、透明な容器に品物が複数入っている場合には、ワークセンサーが2列目の品物を検知すると2枚目のラベルが貼り付けられてしまいます。このような場合には、1枚目のラベルを貼った後に、ワークセンサーからの検知信号を無視する距離を設定することによって、2度貼りを禁止します。通常は商品の長さを設定します。

1 二度貼りキーを押してテンキーを表示します。

- 操作を中止するには、テンキーのESCキーを押します。

2 数値を入力した後、ENTキーを押します。

- 通常は商品の長さを入力してください。
- 例えば、6.0を入力するには、6 0 ENTとキーを押します。



変動項目を設定する

品種中の変動項目を設定します。

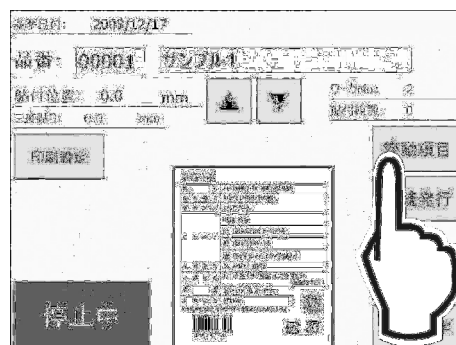
- 変動項目を設定できないようにすることもできます。

1 運転中キーを押して運転を停止します。

- 運転中キーが停止中になります。

2 運転画面の変動項目キーを押します。

- 変動項目画面に切り替わります。



3 変動値を入力し、決定キーを押します。

- 他の変動項目を表示するには、前 次 キーを押してください。

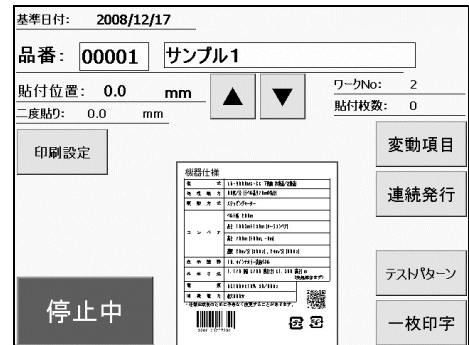
4 戻るキーを押して停止中に戻ります。



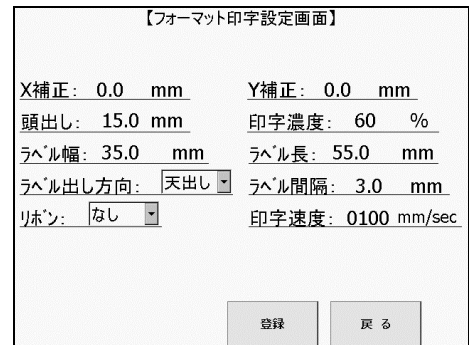
印刷設定を変更する

- 印刷設定が変更できないように設定されている場合、「印刷設定」キーは表示されません。

- 1 「**運転中**」キーを押して運転を停止します。
 - 「**運転中**」キーが「**停止中**」に変わります。
- 2 「**印刷設定**」を押してフォーマット印字設定画面に切り替えます。



- 3 編集する項目を押してキーボードを表示し、変更内容を入力します。
- 4 「**登録**」キーを押します。
 - 品種呼び出し画面に切り替わります。



■ 印字設定項目

X 補正	印字位置(幅方向)の補正值
Y 補正	印字位置(送り方向)の補正值
頭出し	剥離プレート先端でのラベル停止位置の設定値
印字濃度(%)	印字濃度の設定値
ラベル幅	ラベルの幅の設定値
ラベル長	ラベルの長さの設定値
ラベル出し方向	パネルに表示されるプレビューの向きの設定 (天出し、地出し、右出し、左出し)
ラベル間隔	ラベルとラベルの間隔の設定値
リボン	リボンを使用する、しないの設定 (あり、なし)

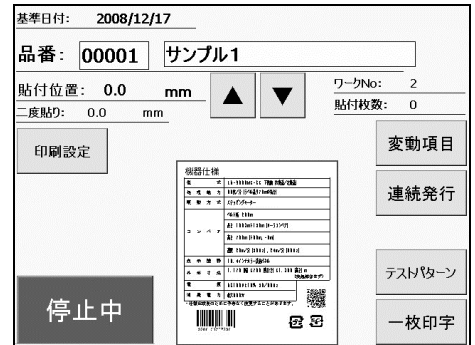
フォーマットを編集する

- フォーマットを編集できないように設定することもできます。

1 **運転中**キーを押して運転を停止します。

- **運転中**キーが**停止中**に変わります。

2 **品種名**を押して品種呼び出し画面に切り替えます。



3 **フォーマット編集**キーを押してフォーマット編集画面に切り替えます。

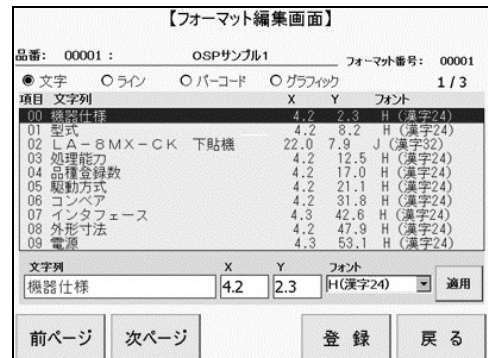
- 品種の前後ページを表示するには、**前ページ** **次ページ**キーを押します。
- 操作を中止するには、**戻る**キーを押します。



4 **編集するアイテム**(文字、ライン、バーコード、グラフィック)を押して選択します。

5 **編集する項目**を押してキーボードを表示し、変更内容を入力します。

- この例では文字列名、X座標、Y座標、フォントが表示されますので、変更する箇所を選択し、変更してください。



6 **適用**キーを押します。

- 変更した項目の表示が変わります

7 **登録**キーを押します。

- フォーマット編集は完了です。品種呼び出し画面に切り替わります。

困ったときには



警告

- 本機を分解したり、改造しないでください。重大な事故や故障の原因になります。
- 本書に従って対処しても解決しない場合は、販売会社にご連絡ください。

ラベルが繰り出されない(ラベラーが動作しない)

ワークセンサーの動作	原因	対処
商品がない状態でも、動作表示灯(赤)が点灯している。(動作不良)	① ワークセンサーとミラーの間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。
	② ワークセンサーが汚れている。	水を含ませて固くしぼった布で、ワークセンサーとミラーを拭いてください。
	③ ワークセンサーとミラーの角度がずれている。	センサーとミラーが正しく向かい合うように、角度または位置を調整してください。
	④ ワークセンサーの感度不良。	ワークセンサーの感度を調整してください。(P.22参照)
商品を検知すると、動作表示灯(赤)が点灯する。(正常動作)	① 押さえローラーが閉じていない。	ロックレバーを水平に戻して押さえローラーを閉じてください。
	② ラベル経路が正しくない。	ラベルを正しい経路にセットし直してください。(P.5参照)

ラベルが正しい位置に貼り付けられない



現象	原因	対処
ラベルが正しい位置に貼り付けられない。	① 品種が間違っている。	正しい品種を呼び出してください。(P.9参照)
	② 貼り付け位置の設定が正しくない。	貼り付け位置を調整してください。(P.10参照)
	③ 頭出しの設定が正しくない。	頭出し(ラベル停止位置)を調整してください。
	④ ワークガイドが、商品の搬送を妨げている。	商品がスムーズに搬送されるように、ワークガイドを調整してください。
数枚に1枚の割合でラベルが繰出されない。またはまったく違った位置に貼り付けられる。	① 押さえローラーが閉じていない。	ロックレバーに戻して押さえローラーを閉じてください。
	② 2度貼禁止の設定が正しくない。	2度貼り禁止を調整してください。(P.11参照)
	③ ラベルセンサーの感度不良。(ラベルセンサーの正常動作については、P.23を参照。)	ラベルセンサーの感度を調整してください。(P.23参照)
1つの商品にラベルが2枚貼り付けられる。	透明な容器に品物が複数入っている場合などには、ワークセンサーが2列目の品物を検知すると2枚目のラベルが貼り付けられてしまいます。	2度貼り禁止を設定してください。(P.11参照)

お手入れ

サーマルヘッドとプラテンローラーを清掃する

サーマルヘッドとプラテンローラーには、ラベルの紙粉やのりが付着します。サーマルヘッドとプラテンローラーの汚れは、印字不良の原因になります。毎日の作業前や終了後に清掃を行ってください。

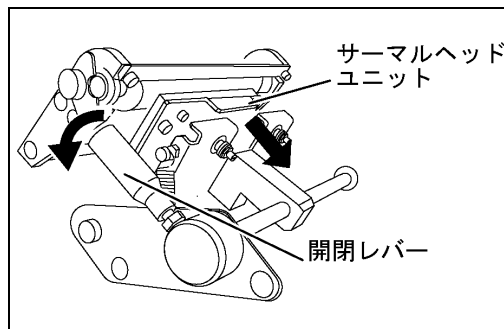
- 清掃後、テストパターンを出力して印字品質を確認してください(P.27参照)。
- 清掃を行っても印字品質が改善されない場合には、サーマルヘッドの交換が必要です(P.20参照)。

 警告	<ul style="list-style-type: none">● 清掃を行う前に、操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ってください。ラベラーの駆動部やコンベヤーベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。● 印字部周辺は高温になっている場合がありますので注意してください。火傷の原因となることがあります。
 注意	<ul style="list-style-type: none">● 印字部とプラテンローラーを傷付けないよう注意してください。紙送り不良や印字不良の原因となります。

1 操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ります。

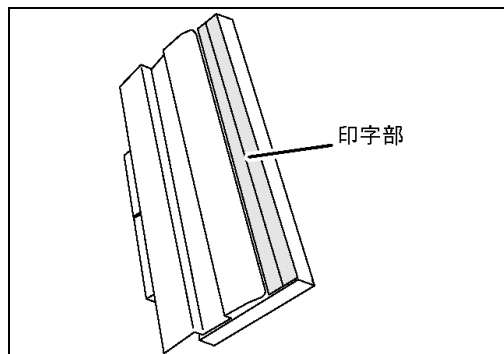
2 開閉ノブを回してサーマルヘッドユニットを開きます。

- ノブ上の矢印方向に回してください。



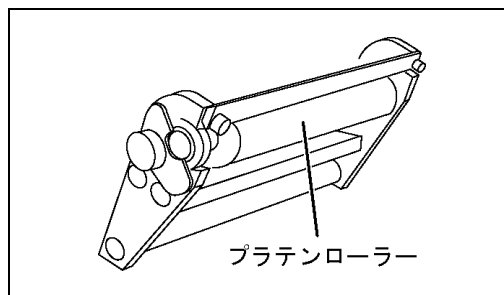
3 サーマルヘッドの印字部を清掃します。

- 付属のクリーナペンを印字部に押し付けて、4、5回動かしてください。



4 プラテンローラーを清掃します。

- アルコール(無水タイプ)を浸した柔らかい布で汚れを拭き取ってください。その後、水分が残らないように、乾いた布で拭き取ってください。





5 サーマルヘッドユニットを閉じます。

- 開閉ノブを反対方向に止まるまで回してください。

サーマルヘッドは消耗品です。予備のサーマルヘッドを用意しておかれるようおすすめします。

お手入れ

本機を末永くお使いいただくために、またトラブルや故障を未然に防ぐためにも、日常のお手入れが必要です。作業終了後は、毎日清掃して常に清潔に保つようしてください。

 警告	<ul style="list-style-type: none">● 清掃を行う前に、操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ってください。ラベラーの駆動部やコンベヤーベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。● 本機に水をかけないでください。故障の原因になります。
 注意	<ul style="list-style-type: none">● 各駆動部に注油する必要はありません。

清掃箇所	清掃方法
ラベラー駆動部	ローラーなどに貼り付いたラベルを取り除き、アルコールなどを布に含ませてローラー部の汚れを拭き取ってください。
操作パネル センサー コンベヤーベルト	水を含ませ、固くしぼった布で拭いてください。
サーマルヘッド プラテンローラー	P.16を参照してください。

日常の清掃と印字確認のお願い

- サーマルヘッドとプラテンローラーにラベルの紙粉やのりが付着すると、印字不良の原因になります。毎日の作業前や作業終了後に、必ずこれらの清掃を行ってください。(P.16 参照)
- 定期的にテストパターンを印字して、ドット抜けなどの印字不良がないことを確認してください(P.26 参照)。
- 印字内容は定期的に確認してください。特にラベル種や印字内容の変更時には、必ず印字内容の確認を行ってください。
- バーコードが含まれている場合は、バーコードリーダーなどを使用して実際に読取データの確認を行ってください。特に90度回転させたバーコードの場合は、必ず読取データの確認を行ってください。

保守

品種データをコントロールボックスへ書き込む

パソコン上で作成した品種データをラベラーのコントロールボックスへ書き込みます。

- 逆にコントロールボックス内の品種データを USB メモリーに読み出すこともできます。

1 **運転中**キーを押して運転を停止します。

- **運転中**キーが**停止中**に変わります。

2 画面の左上角を2回、右上角を2回すばやく押します。

- 設定画面1が表示されます。

3 **メンテ画面**キーを押します。

- メンテ画面が表示されます。

4 **バックアップ**キーを押します。

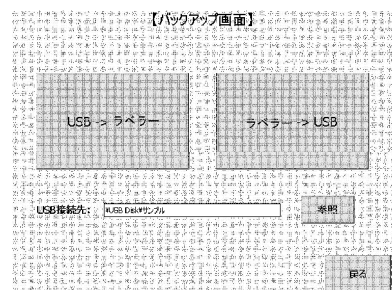
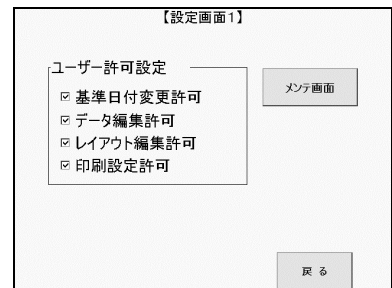
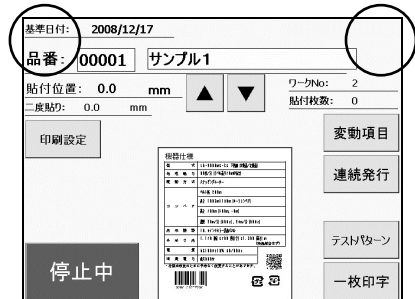
- バックアップ画面が表示されます。

5 USB メモリーを操作パネルのコネクターに挿した後、**参照**キーを押して品種データのフォルダを指定します。

- フォルダを選択した後、**決定**キーを押してください。

6 **USB->ラベラー**キーを押して品種データをコントロールボックスへ書き込みます。

- コントロールボックス内の品種データを USB メモリーに読み出す場合は、**ラベラー->USB**を押してください。
- 以降、メッセージに従って操作してください。
- 書き込み完了後は、コントロールボックスの電源を一旦切り、再度入れてください。



ユーザーが変更できる項目を設定する

1 **運転中**キーを押して運転を停止します。

- **運転中**キーが**停止中**に変わります。

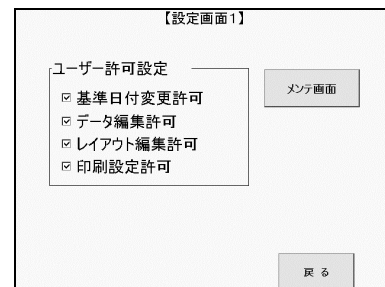
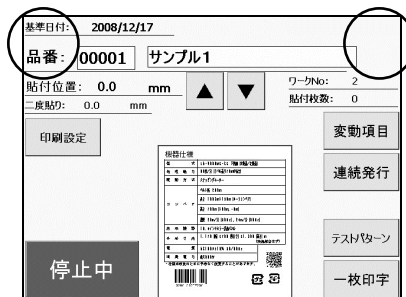
2 画面の左上角を2回、右上角を2回すばやく押します。

- 設定画面1が表示されます。

3 ユーザー許可設定の各項目を設定します。

- 許可する項目にはチェックマークを付けてください。詳細は以下の表を参照してください。



4 **戻る**キーを押します。



■ユーザー許可設定

基準日付変更許可	停止中に 基準日付変更 キーを表示します。
データ編集許可	品種呼び出し画面に データ編集 キーを表示します。
レイアウト編集許可	品種呼び出し画面に レイアウト編集 キーを表示します。
印刷設定許可	停止中に 印刷設定変更 キーを表示します。

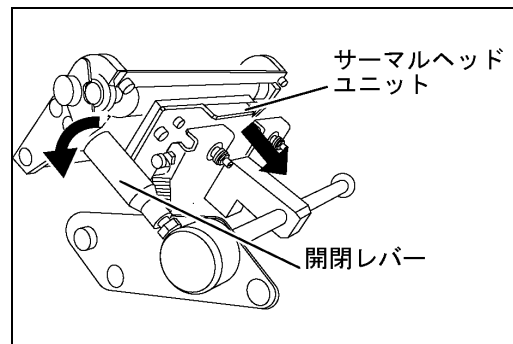
サーマルヘッドを交換する

 警告	<ul style="list-style-type: none">● サーマルヘッドの交換を行う前に、必ず操作パネルとコンベヤーの電源を切ってください。ラベラーの駆動部やコンベヤーベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。● 使用していたサーマルヘッドの印字部周辺は、高温になっている場合がありますので注意してください。火傷の原因となることがあります。
 注意	<ul style="list-style-type: none">● 印字部とプラテンローラーを傷付けないよう注意してください。紙送り不良や印字不良の原因となります。

1 操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ります。

2 開閉レバーを回してサーマルヘッドユニットを開きます。

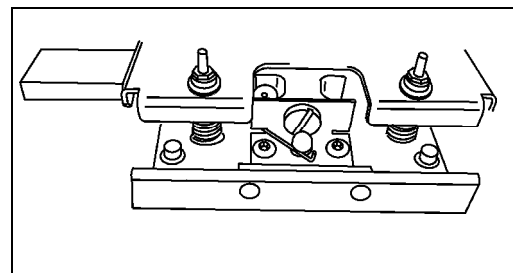
- レバー上の矢印方向に回してください。



3 ロックバネを矢印の方向に押してヘッドロックピンの溝から外し、サーマルヘッド(ロックピン)をゆっくりと押し下げて抜きます。

- ケーブルが接続されていますので、注意してください。

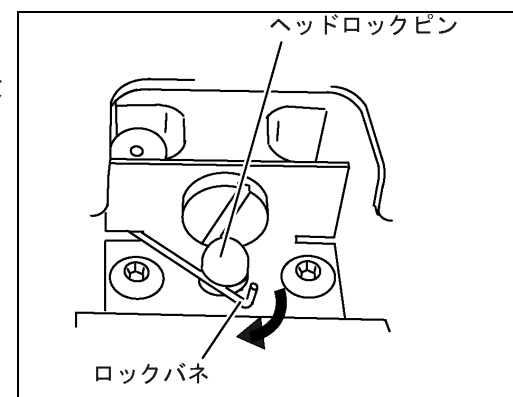
4 コネクタを外し、サーマルヘッドを取り外します。



5 新しいサーマルヘッドにコネクタを取り付けます。

6 サーマルヘッドを取り付けます。

- ロックピンを元の穴に挿入してヘッドユニットの2本のピンを奥まで差し込みます。ロックバネがロックピンの溝に入っていることを確認してください。





7 サーマルヘッドユニットを閉じます。

開閉レバーを反対方向に止まるまで回してください。

サーマルヘッドは消耗品です。予備のサーマルヘッドを用意しておかれるようおすすめします。

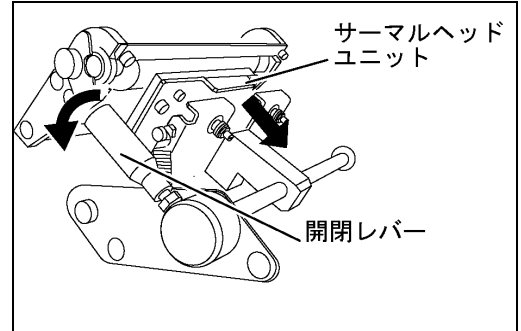
プラテンローラーを交換する

 警告	<ul style="list-style-type: none">● プラテンローラーの交換を行う前に、必ず操作パネルとコンベヤーの電源を切ってください。ラベラーの駆動部やコンベヤーベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。● 使用していたサーマルヘッドの印字部周辺は、高温になっている場合がありますので注意してください。火傷の原因となることがあります。
 注意	<ul style="list-style-type: none">● サーマルヘッドを傷付けないよう注意してください。紙送り不良や印字不良の原因となります。

1 操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ります。

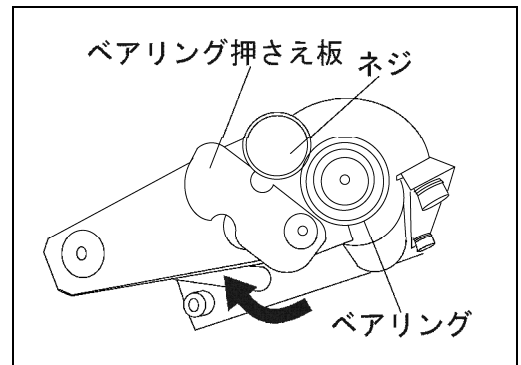
2 開閉レバーを回してサーマルヘッドユニットを開き、ラベルを外します。

- レバー上の矢印方向に回してください。



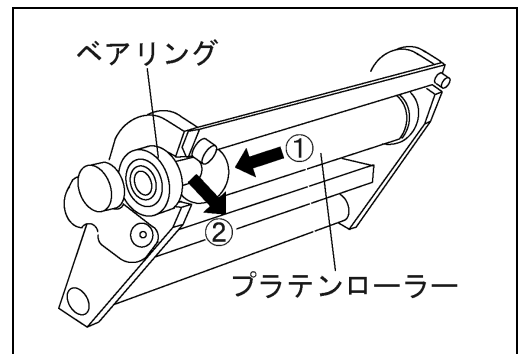
3 ベアリング押さえ板のネジを緩めてベアリングが抜ける位置まで回転させます。

- 押さえ板がベアリングの位置からはずれていることを確認してください。



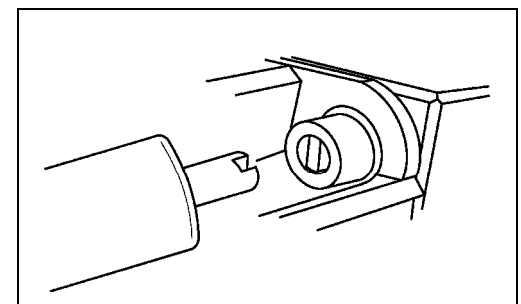
4 ① ベアリングがベアリングホルダーから外れるまでプラテンローラーと同時に引き抜きます。

5 ② プラテンローラーをサーマルヘッド側に押し印字ユニットから外れます。



6 上記と逆の手順でプラテンローラーを取り付けます。

- プラテンローラー軸の切欠き凹を本体側の駆動軸凸にはめてください。



7 サーマルヘッドユニットを閉じます。

- 開閉レバーを反対方向に止まるまで回してください。

ワークセンサーの感度を調整する

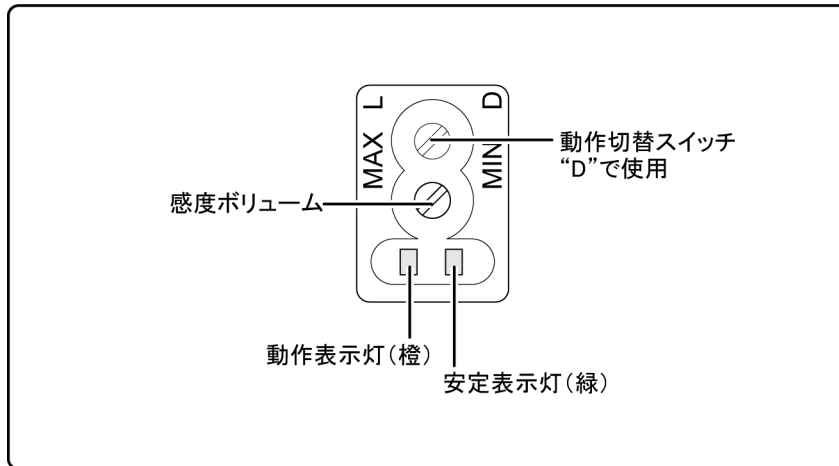


警告

- センサーの感度調整を行う前に、必ずコンベヤーの電源を切ってください。コンベヤーベルトに手を巻き込まれる可能性があるため危険です。

- ワークセンサー CX-491

ワークセンサー(コンベヤー奥側)



- 1 操作パネルの電源スイッチを切り、30秒待って再度入れます。**
 - コンベヤーの電源スイッチが切れていることを確認してください。
- 2 ワークセンサーの感度ボリュームを止まるまで反時計回りに回して、最小位置に合わせます。**
 - 安定動作表示灯(緑)と動作表示灯(赤)が点灯します。
- 3 感度ボリュームを時計回りにゆっくりと回すと、両方の表示灯が消灯します。さらに時計回りにゆっくりと回し、安定動作表示灯(緑)が点灯する位置で止めます。**
 - 調整完了です。
- 4 商品を使ってワークセンサーの動作を確認します。**

■ワークセンサーの正常動作

商品がない状態では、動作表示灯(赤)は消灯しています。
商品を検知すると、動作表示灯(赤)が点灯します。

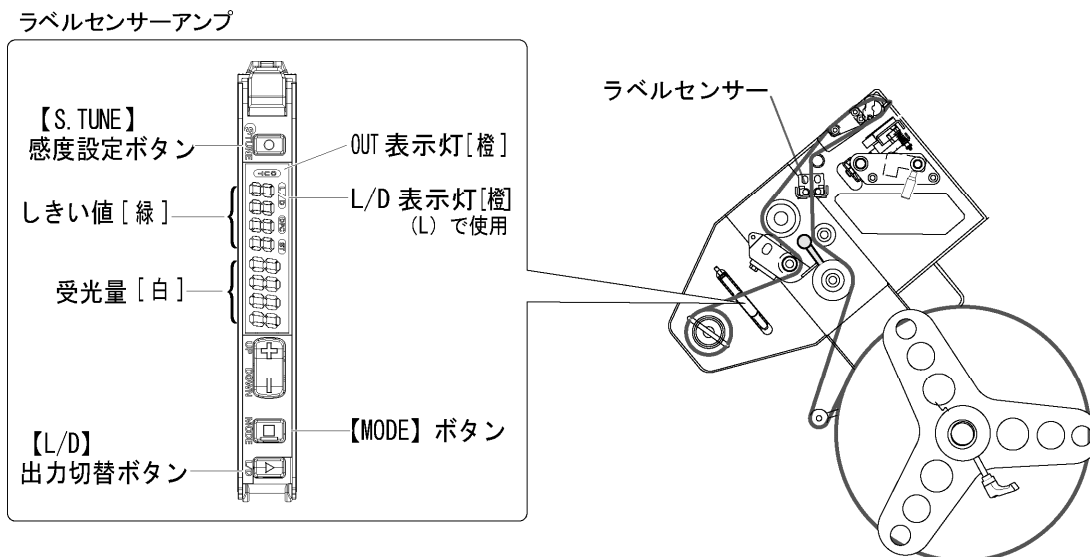
ラベルセンサーの感度を調整する(①しきい値の手動設定)



警告

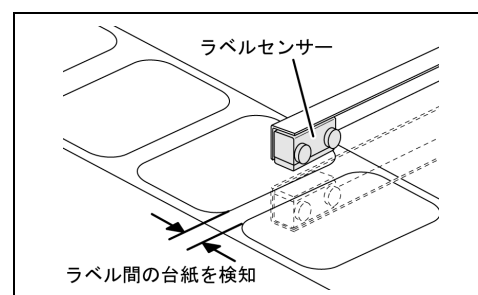
- 調整を行う前に、必ずコンベヤーの電源スイッチを切ってください。コンベヤーベルトに手を巻き込まれる可能性があるため危険です。

- E3NX-FA7-OSP



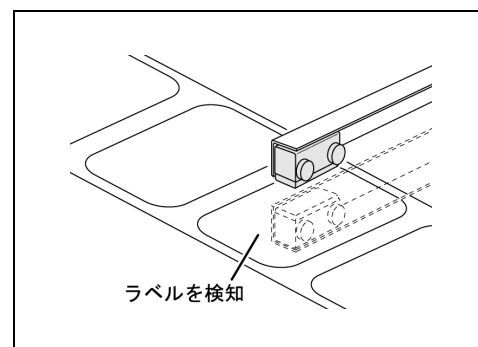
- 1 ラベル間の台紙部分が検知されるように合わせ、ラベルセンサーアンプの受光量(白)値を確認(A)します。

- ロックレバーを回して押えローラーを開くと、ラベルをスムーズに動かすことができます。



- 2 ラベルが検知されるように合わせ、ラベルセンサーアンプの受光量(白)値を確認(B)します。

- ラベル上の印刷されていない白地の部分を合わせてください。
- 白地がない場合は、色が最も薄い部分に合わせてください。
- 調整後は、押えローラーを閉じてください。



- 3 しきい値(緑)を上記の数値(A)と(B)の間の数値になる様、UPボタンまたはDOWNボタンで設定します。

(例) (A)が2500、(B)が500の場合、しきい値(緑)を1500に設定します。

- 4 貼付運転を行い、ラベルセンサーの動作を確認して下さい。

■ラベルセンサーの正常動作

ラベル間の台紙部分では、OUT 表示灯(橙)は点灯します。
ラベルを検知すると、OUT 表示灯(橙)は消灯します。

ラベルセンサーの感度を調整する(②自動感度調整)

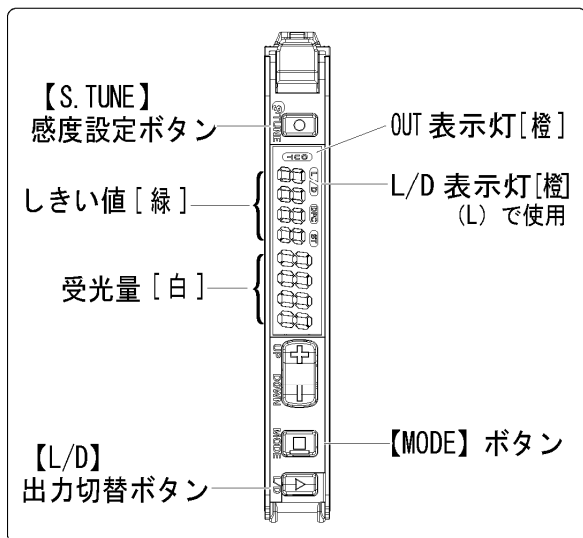


警告

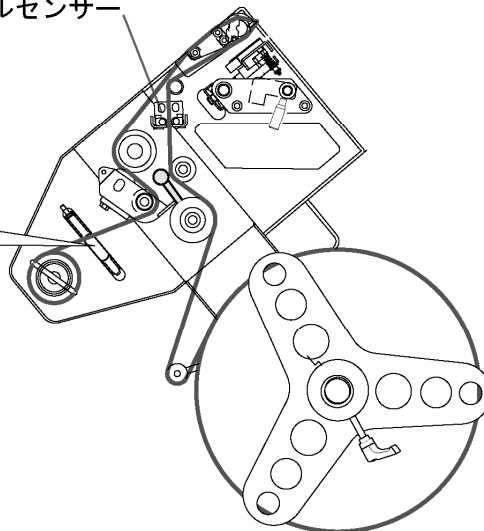
- 調整を行う前に、必ずコンベヤーの電源スイッチを切ってください。コンベヤーベルトに手を巻き込まれる可能性があるため危険です。

- E3NX-FA7-OSP

ラベルセンサーアンプ



ラベルセンサー



- エラーメッセージが表示されている場合は、**リセット**キーを押して運転画面に戻ります。



注意

- エラー発生後、操作パネルの電源スイッチを切らずに感度調整を行ってください。

- ラベルを検知している状態でセンサーアンプの **S.TUNE** ボタンを押します。

- 台紙部分を検知している状態で **S.TUNE** ボタンを押します。

- 貼り付け運転を行い、ラベルセンサーの動作を確認します。

- エラーになる場合は、上記の操作を再度行ってください。特に、異なる種類のラベルを継いだ場合には、上記の操作を2回行わなければならない場合があります。

■ラベルセンサーの正常動作

ラベル部分では、動作表示灯(橙)は消灯しています。ラベル間の台紙部分を検知すると、動作表示灯(橙)が点灯します。

センサー光量の初期設定(パワーチューニング)

- しきい値の手動設定で正常動作しない場合に行います

1 センサーがラベル台紙(セパレータ)を検知した状態で固定します。

- 台紙を固定して、受光量を安定させてください。

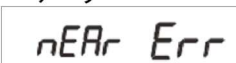

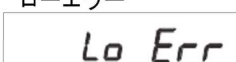
2 ラベルセンサの感度を調整します(パワーチューニング)。

- S.TUNE**+**MODE**ボタンを1秒以上両押しして下さい。

(参考)

エラー

進捗バー表示後、以下の内容が表示される場合は、エラーが発生しています。

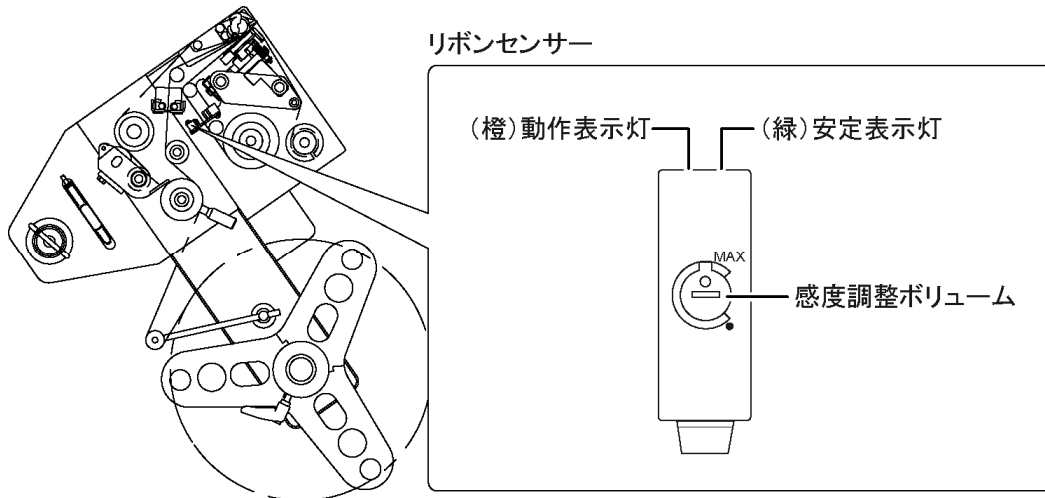
エラー名 / 表示 / 原因	発生チューニング種別	対応方法
ニアエラー  1点目と2点目の受光量差が小さすぎる状態です。	2点チューニング フルオートチューニング 位置決めチューニング	・検出機能を応答時間が遅いモードに変更ください。 ・投受光間距離を狭めてください。
オーバーエラー  受光量が多い状態です。	全て	・投受光間距離を広げてください。 ・パワーチューニングレベルを大きくしてください。 ・細径ファイバを使用してください。
ローエラー  受光量が少ない状態です。	最大感度チューニング 以外	・投受光間距離を近づけてください。 ・パワーチューニングレベルを小さくしてください。

リボンセンサーの感度を調整する(熱転写仕様のみ)

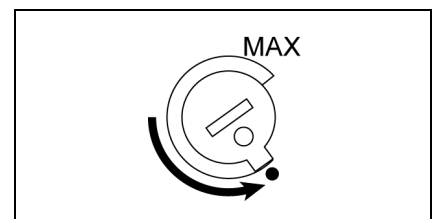


警告

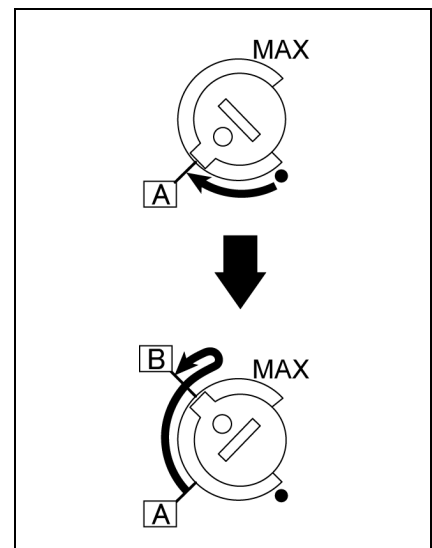
- センサーの感度調整を行う前に、必ずコンベヤーの電源を切ってください。コンベヤーベルトに手を巻き込まれる可能性があるため危険です。



- 1** 感度調整ボリュームを反時計方向に止まるまで回して、最小感度位置(●)にします。



- 2** リボンがない状態にし、感度調整ボリュームを徐々に回し、動作表示灯(橙)が点灯する位置を **A** とします。



- 3** リボンを検知した状態にし、時計方向に回して動作表示灯(橙)が点灯する位置まで回します。その後、少し反時計方向に戻して、動作表示灯(橙)が消灯する位置を **B** とします。

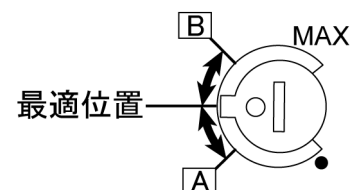
- 時計方向に回し切った状態でも動作表示灯(橙)が点灯しない場合は、回し切った位置が **B** となります。

- 4** 感度調整ボリュームを **A** と **B** の中間に設定します。

- 調整完了です。
- センサーの動作を確認してください。


■リボンセンサーの正常動作

リボンがある状態では、動作表示灯(橙)は消灯しています。リボンがなくなると、動作表示灯(橙)が点灯します。



その他

操作キーの働き

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● タッチパネルは、指先で軽く押して操作してください。 ● タッチパネルは、ペン先やドライバーなどの鋭利なもので押さないでください。表面のフィルムが傷付くと内部に水分が入り、タッチパネルが破損する恐れがあります。
---	---

基準日付: 2008/12/17

品番:

貼付位置: 0.0 mm ▲ ▼ ワークNo: 2

二度貼り: 0.0 mm 貼付枚数: 0

印刷設定

機器仕様

型 式	LS-11104-14 7種印刷/2種
処理能力	1000個/分(連続印刷時)
印刷方式	インクジェット
印刷色	4色 CMYK
コンペア	縦 112mm(幅)×325mm
	横 70mm(幅)×141mm
	厚 1.0mm(厚)×1.0mm(厚)
最大印刷	1.171mm×2.626mm
印刷速度	1.171mm×11.111mm/分
電 源	AC100V/50/60Hz
消費電力	400W

*各項目は表示内容と異なる場合があります。




変動項目

停止中

連続発行

テストパターン

一枚印字

停止中	押すと、ラベラーが運転状態に移行し、表示が「 運転中 」に切り替わります。
変動項目	変動項目を設定します。画面は変動項目設定画面に切り替わります。
連続発行	ラベルを連続で発行します。画面は連続発行画面に切り替わります。
テストパターン	テストパターンを印字発行します。
一枚印字	ラベルを一枚印字発行します。
品 番	品種番号が表示されます。品種名を押すと品種呼び出し画面に切り替わり、品種を変更することができます。
貼付位置	ラベルの貼り付け位置を調整します。
二度貼り	2度貼りを防止する時間を調整します。
印刷設定	印刷設定を調整します。画面は印刷設定画面に切り替わります。

仕様

型 式	LA-8MX-CK 下貼機
処理能力	60 枚/分(ラベル送り70mmの場合)
ラベル仕様	台紙幅 40~100mm ラベル長 40~110mm ラベル間隔 3mm 以上 ロール外径 φ280mm(約250m巻き) 紙管内径 φ76.5mm 巻き仕様 表巻き / 裏巻き(オプション)
印字仕様	熱転写方式 / 熱直接発色方式 ヘッド密度: 12ドット/mm(300dpi相当) 印字幅: 80mm 印字速度: 100mm/秒
コンベヤー仕様	コンベヤーベルト幅 200mm コンベヤー長さ 985mm+150mm(排出ローラーコンベヤー) コンベヤー高さ 795mm(+80mm、-0mm) コンベヤー速度 20m/分(50Hz)、24m/分(60Hz)
外形寸法	1,135(幅)×770(奥行)×1,085(高さ)mm (突起部含まず)
電 源	AC100V±10% 50Hz/60Hz
消費電力	最大 600W
使用環境	温度 0~35°C 湿度 30~85%RH(結露しないこと)

- 仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

OSP 大阪シーリング印刷株式会社

東京営業部 中央区築地2-11-24 第29興和ビル4F・8F・9F
大阪営業部 大阪市天王寺区味原町13-21 OSP味原ビル
名古屋営業部 名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル5F
支 店 千葉・横浜・神戸
営 業 所 札幌・北日本・東北・福島・群馬・西東京・さいたま・長野・新潟・静岡・浜松・岐阜・金沢
・京都・南大阪・岡山・広島・米子・四国・松山・高知・福岡・北九州・熊本・鹿児島・沖縄

<http://www.osp.co.jp/>

'18年1月第2版

お問い合わせ先